

ちょっとひと言!! 市民の声



広報委員が市民の皆さんに、行方市に寄せる思いをインタビューしました。



を果たしてもらえると期待しているのか、どうか市としても、この霞ヶ浦という大きな資産を活かすような展開を検討していただきたい。

(60代・男性)

●高齢者の免許返納をする方が年々増えている様である。私の近所の方も数人が返納されたと聞く。公共交通機関の少ない、特に鉄道機関の無い行方市にとって高齢者の病院の通院、買い物などに大変不便をかけている様で重要な課題である。交通弱者にも目を向け、返納者には一定期間、又は一回限りのタクシー無料券の配布などを考えていただきたく思う。更なる交通インフラの整備をお願いしたい。

(50代・男性)

●今までもたくさんの方が口をそろえて褒める、ふれあいランド周辺ですが、なぜか良さを活かしきれない様に感じます。訪れた人も夕日の景色などに残るものがあると思います。二度三度、定期的に訪れてもらう所に、是非なってみてほしいと思います。大きな予算を使っている開発は難しいと思いますが、長期的な計画を立てて、行方市の西の名所となる様、願っています。

(50代・男性)

●行方市の資産といえば、霞ヶ浦だと思ふ。しかし、現在は、その重要な資産を活かしきれない。水質の改善はもちろんだが、観光資源として大きな可能性を秘めており、市のアピール、観光客の増加に重要な役割

の場が創出されることを期待しています。

(60代・男性)

●高校まで行方に住んでいて、大学進学で4年間地元を離れていました。友人に、行方市には何かあるの？と聞かれても、何と答えていいのかわからない感じでした。働く場所が少ないのも問題だと思ふし、若い人が集う所も無いと思ふます。自然豊かな地域なのでスポーツ施設をもっと造ってもらえたらいいと思います。あと霞ヶ浦がもっと綺麗な湖になれば、他から多くの人も来てくれるし、住んでいられる人も、もっと豊かな気持ちになれると思ふます。

(20代・男性)

●次回の市議選から定数削減をするとのこと。意味のないことかも知れませんが、平成の大合併をすすめ「指導助言」した国や県はどうでしょうか？

(50代・男性)

隣接する自治体との比較、財政効果等の観点から止むを得ないのかも知れませんが、削減により多種多様な意見や少数の意見が「削減」される事のない様にお願ひ致します。削減により議員の責任は大きくなります。今後とも侃々諤々とした議論

●なめがたエリアテレビが開始され、各地域の祭りやスポーツ、娯楽イベント等行方市や県内外の情報がたくさん放送されています。奈良崎正明さんの司会で、カラオケも大変楽しく見させて頂いております。銚田市の一部でも視聴できるそうですが、市内では、まだ視聴できない地域があるようです。最初の予定より大分遅れて予算もかかると思ふますが、指導する職員が足りなければ、業者に依頼するなり市民全員が視聴できるようにお願ひします。

(70代・女性)

スマホで読める！議会だより デジタルブック配信しています

※ デジタルブックの配信は発行日の10日後となります。

- ブラウザでもアプリでも、スマホやタブレットで読めます。
- 9言語で読めます。
- 音声読み上げもできます。
- 文字サイズを調整できます。

※ブラウザは音声読み上げに対応していません。
音声読み上げには無料アプリ（カタポケ）のインストールが必要です。

無料アプリ
『カタポケ』
このアイコン
が目印 →

